



会社案内 2017-2018

CORPORATE PROFILE



<http://www.7andi.com>



ごあいさつ

セブン&アイ HLDGS. は、コンビニエンスストア、スーパー、百貨店、専門店、銀行、ネット事業など、世界にも類のない多彩な業態をカバーし、流通サービスの可能性を広げ続けています。例えば、グループ共通のプライベートブランド「セブンプレミアム」は、質にこだわることでこれまでのプライベートブランドのあり方を一新しました。お客様に信頼されるブランドとして成長し、今年、販売開始から 10 周年を迎えました。

そしていま、グループ傘下の幅広い業態が連携して、お客様のライフステージに寄り添った商品やサービスの提供を進めると同時に、お客様ニーズの変化に合わせて、コンビニエンスストア、スーパー、百貨店の店舗スタイルや品揃えを見直すなど、それぞれの革新を一段と加速しています。さらに、これまで培ってきた店舗網や情報、物流などの事業インフラと IT の成果を結び付け、いつでもどこでもお客様一人ひとりのニーズに向き合う流通サービスの時代を切り拓こうとしています。

私たちの生活を取り巻く変化の波がますます加速する中で、より迅速にお客様のご期待に応えていくために、私たちはお客様の潜在ニーズを掘り起こし、新たな価値の創造に挑戦し続けてまいります。

私たちは創業の理念である「誠実と信頼」を大切に、お客様をはじめすべてのステークホルダーの皆様との信頼関係をより緊密にしながら、今後も生活の中に便利さ、快適さ、安心感、満足感などを生み出す素晴らしい「体験」をお届けしてまいります。



株式会社 セブン&アイ・ホールディングス
代表取締役社長
井阪 隆一

グループ社是

私たちは、お客様に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい。
私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい。



お客様のあらゆる ライフステージに 選りすぐった「価値」をお届け

セブン&アイグループの価値創造の原点は、つねに「お客様」です。日常の暮らしからハレの日まで日々のニーズに幅広くお応えするとともに、お客様のライフステージの折々に、価値ある商品やサービスをお届けできることが私たちの誇りです。セブン&アイグループだからこそできる価値の創造と提供へ——私たちは、お客様とともに歩み続けていきます。

総合流通グループとして グループシナジーを活かしながら あらゆるライフステージに応えます。

誕生から子ども時代、学生時代を経て、就職して社会人となり、
結婚して家庭を築き、そして豊かな老後まで。
セブン&アイグループはあらゆるライフステージに対応した
商品やサービスをお届けしながら、つねにお客様とともに歩み続けています。

誕生

学生

社会人

結婚・出産

定年・老後

子ども

7-Eleven
SEIBU SOGO
n rasser
セブン銀行
イトヨーカドー
Loft
Denny's レストラン
ah アカチマンホンポ
om ni 7
ヨクベニマル
ヨクマナ

セブン&アイグループのお店やサービスは街の暮らしを支え新しい「便利」をつくり続けています。

セブン-イレブンやイトーヨーカドーでのお買物、そごうや西武、ロフトでの楽しいお買物体験、デニーズでの家族の団らんなど、地域の暮らしに溶け込んだセブン&アイグループのお店。そしてショッピングサイト「オムニ7」や、ネットスーパーなどのお届けサービス、ATMサービスなど、お客様の「便利」を追求することでセブン&アイグループは、暮らしのインフラとしてなくてはならない存在を目指します。

om ni7 グループカを結集した「オムニ7」

百貨店の商品をコンビニエンスストアで受け取ったり、スーパーの生鮮食品や専門店のインテリアなどを自宅を受け取ったりと、セブン&アイグループのあらゆる商品やサービスが、一つにつながる仕組みが、「オムニ7」です。いつでも、どこでも注文できて、コンビニエンスストアでも自宅でも受け取れるストレスのないショッピングスタイル。私たちが提供する「便利」は進化を続けています。

POINT 1 「オムニ7」の最大の魅力、オリジナル商品

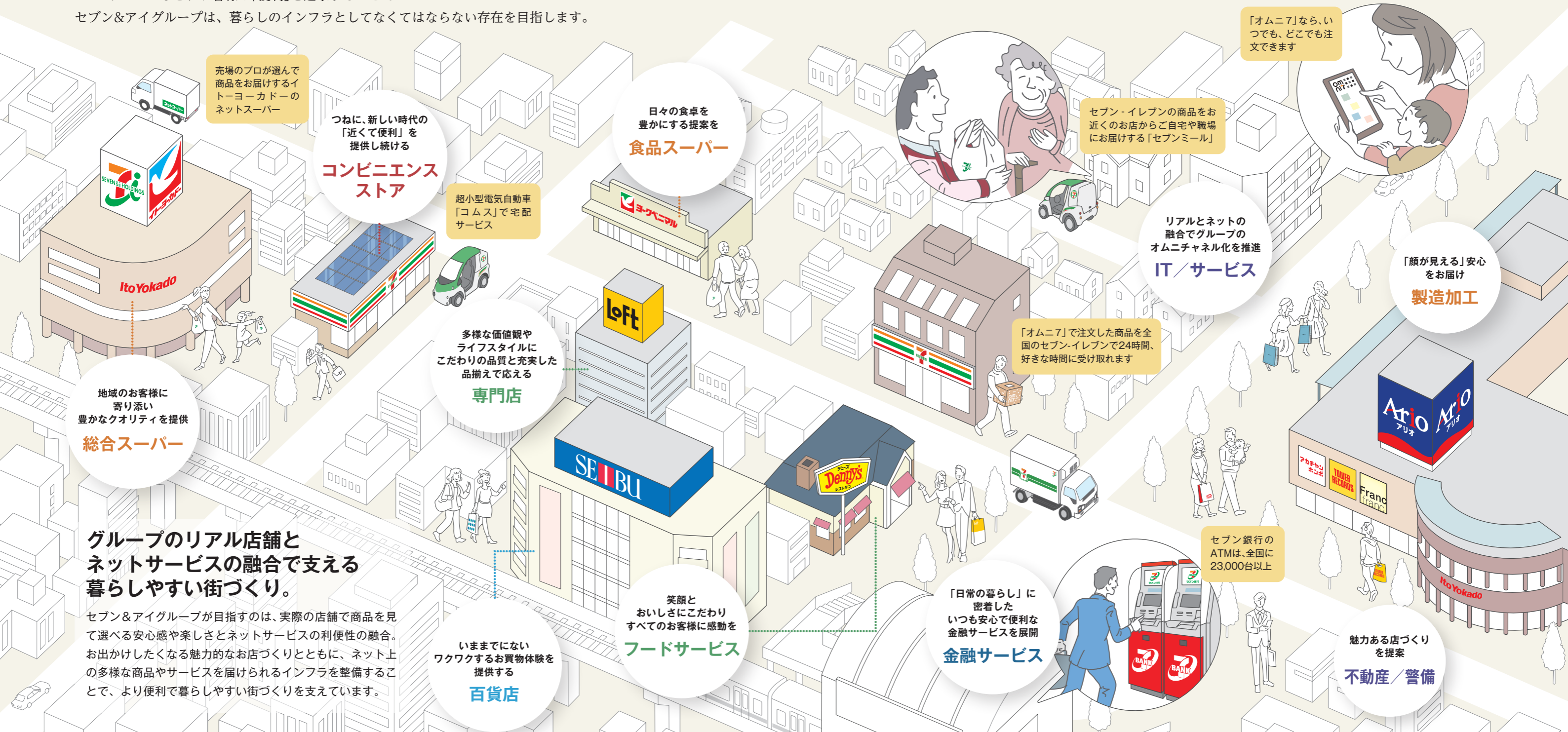
お店では扱っていないネットだけのオリジナル商品も注目です。ネットならではの最新トレンドに対応したコラボ商品や限定商品などが、魅力を高めています。

POINT 2 どこでも買える・受け取れる

セブン-イレブンを中心としたグループ店舗で、商品受け取り、返品等のサービスを実現。お買物のついでや通勤の途中など、お客様の都合に合わせてご利用できます。

POINT 3 第一類を含む医薬品を販売

「オムニ7」では、2016年9月より専門の薬剤師への電話での相談体制を整備し、第一類を含む医薬品3,000アイテムの取り扱いを開始。近くのセブン-イレブンなどで薬が受け取れます。



売場のプロが選んで商品をお届けするイトーヨーカドーのネットスーパー

つねに、新しい時代の「近くて便利」を提供し続ける
コンビニエンスストア

超小型電気自動車「コムス」で宅配サービス

日々の食卓を豊かにする提案を
食品スーパー

セブン-イレブンの商品をお近くのお店からご自宅や職場にお届けする「セブンミール」

「オムニ7」なら、いつでも、どこでも注文できます

リアルとネットの融合でグループのオムニ7チャンネル化を推進
IT/サービス

「顔が見える」安心をお届け
製造加工

「オムニ7」で注文した商品を全国のセブン-イレブンで24時間、好きな時間に受け取れます

地域のお客様に寄り添い豊かなクオリティを提供
総合スーパー

多様な価値観やライフスタイルにこだわりの品質と充実した品揃えで応える
専門店

グループのリアル店舗とネットサービスの融合で支える暮らしやすい街づくり。

セブン&アイグループが目指すのは、実際の店舗で商品を見て選べる安心感や楽しさとネットサービスの利便性の融合。お出かけしたくなる魅力的なお店づくりとともに、ネット上の多様な商品やサービスを届けられるインフラを整備することで、より便利で暮らしやすい街づくりを支えています。

いままでにないワクワクするお買物体験を提供する
百貨店

笑顔とおいしさにこだわりすべてのお客様に感動を
フードサービス

「日常の暮らし」に密着したいつも安心して便利な金融サービスを展開
金融サービス

セブン銀行のATMは、全国に23,000台以上

魅力ある店づくりを提案
不動産/警備

世界18の国と地域に 63,000 店舗以上を展開。 世界規模のブランドへと成長を遂げています。

日本をはじめ、世界18の国と地域にコンビニエンスストアやスーパー、レストランなどを展開。
さらに、2017年6月にはベトナムへの出店を開始するなど、世界規模のネットワークを活かして
お客様に新しい価値の提案と質の高いサービスをお届けしています。



約 **520** 店

ノルウェー (セブン-イレブン)
スウェーデン (セブン-イレブン)
デンマーク (セブン-イレブン)

ヨーロッパ

約 **30,250** 店

中国 (セブン-イレブン/成都イトーヨーカ堂/華糖ヨーカ堂/そごう)
韓国 (セブン-イレブン)
マレーシア (セブン-イレブン/そごう)
台湾 (セブン-イレブン/そごう)
インドネシア (そごう/西武)
フィリピン (セブン-イレブン)
シンガポール (セブン-イレブン)
タイ (セブン-イレブン)
ベトナム (セブン-イレブン)

日本

アジア

約 **11,000** 店

アメリカ (セブン-イレブン)
メキシコ (セブン-イレブン)
カナダ (セブン-イレブン)

北米

7 店

アラブ首長国連邦
(セブン-イレブン)

UAE

約 **640** 店

オーストラリア (セブン-イレブン)

オーストラリア

日本国内店舗数

約 **20,900** 店

セブン-イレブン/
イトーヨーカドー/
そごう/西武/
ヨークベニマル/
デニーズ/ロフトなど

総来客数

約 **2,200** 万人/日



店舗数は2017年2月末現在(海外は2016年12月末現在)

セブン&アイグループは 社会の課題解決に取り組んでいます。

社会環境の変化にともない小売業が果たすべき役割は多様化しています。
セブン&アイグループの持つ機能を活かしながら、本業を通じた社会価値と企業価値の創造を追求しています。

社会インフラの提供

少子高齢化が進む日本では生活拠点の空洞化により、お買物に不便を感じているお客様が増えています。セブン&アイグループでは、こうした社会環境の変化に対応し、全国にグループ約20,900店舗を展開する店舗網を活かして、お買物の利便性向上に取り組んでいます。

自治体との包括連携協定数
(2017年6月末現在)

129 団体

各自治体と、地産地消、高齢者支援、健康増進、環境保全など、幅広い分野で「包括連携協定」を締結。また、通常の店舗営業時やお届けサービスの中で、高齢者の異変を察知した場合は市町村と連携して対応する「見守り協定」の締結も推進しています。



グループで活躍する
認知症サポーターの人数
(2017年4月末現在)

約 23,600 人

出店地域において、認知症の方とその家族が安心して暮らせる街づくりを支援するために、従業員に「認知症サポーター養成講座」の受講を奨励。今後もグループ各社で養成講座を開催し、認知症サポーターの育成を強化していきます。



安全・安心の提供

食のグローバル化や、食の安全・安心を脅かす事件・事故が発生する中、食の安全性に対する関心が高まっています。セブン&アイグループでは、グループ店舗で約300万アイテムの商品を取り扱うほか、プライベートブランドとしてさまざまな商品を開発。商品の「安全・安心」をはじめ、品質の確保は何よりも重要なものとして取り組んでいます。

「顔が見える食品。」
(2017年2月末現在)

229 アイテム

イトーヨーカドーでは、商品の生産地や生産方法、流通経路を正確に把握してお客様にお伝えするプライベートブランド「顔が見える食品。」を販売。仕入担当者が適切な栽培・飼育管理がなされているかを確認し、第三者機関の認定を受けて販売しています。



セーフティステーションの数
(2017年6月末現在)

19,588 店

セブン-イレブンでは、年中無休や24時間営業という特性を活かし、女性や子ども、高齢者の保護、青少年を取り巻く環境の健全化、強盗や万引きの防止、災害や事故、急病人への対応など、安全・安心を見守る「セーフティステーション活動」に取り組んでいます。



商品・原材料・エネルギーの ムダのない利用

気候変動問題は、海水面の上昇や異常気象の増加、農漁業への影響など、将来世代にまで影響の及ぶ重大な脅威であり、主たる原因はCO₂排出によるものとされています。セブン & アイグループは、事業活動により消費するエネルギーや廃棄物を削減することは、持続可能な社会の実現に向けて大きな影響を持つと考え、グループ全体でその対策に取り組んでいます。

ペットボトル回収本数
(2017年2月期)

約 2億 600 万本相当

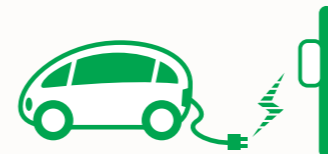


セブン-イレブン、イトーヨーカドー、ヨークベニマル、ヨークマーでは、2012年からペットボトル自動回収機を店頭で設置。現在4社で368台(2017年2月末現在)が稼働しています。回収されたペットボトルの一部は、国内でペットボトルなどに再生されます。こうした「循環型リサイクル」システムは、国内の大手小売業としては初めての取り組みです。

電気自動車用充電器の
設置台数
(2017年6月末現在)

2,815 台

全国45店舗のイトーヨーカドー、アリオ、そごう、西武に電気自動車用充電器を設置し、有料充電サービスを提供。この取り組みは国内最大規模の導入事例であり、さらに電気自動車の利用スタイルの確立や、低炭素社会の実現に貢献することを目的としています。



エシカルな社会づくりと 資源の持続可能性向上

膨大な商品・サービスを提供する上で、社会・環境に配慮し、貢献していくことも、セブン&アイグループの重要な役割です。商品の原材料調達からお客様のもとに届くまでの全プロセスにおいて法令を遵守するだけでなく、資源の持続性や労働環境にも配慮することにより、事業継続性を高めていきます。また、近年高まる「エシカルな消費」へのお客様の意識に対応することで、競争力の強化も進めていきます。

※倫理的の意。近年では、商品やサービスにおいて生産・流通の過程から違法性や非人道性を排除し、あえてそれを選ぶことで環境保全や社会貢献につながるものが求められている。

「セブンの森」
(2017年6月末現在)

17 カ所



セブン&アイグループでは、一般財団法人セブン-イレブン記念財団を中心に地球温暖化防止、生物多様性の維持・保全に寄与することを主旨として、全国17カ所で森林整備活動に取り組んでいます。この「セブンの森」づくりでは「健全な森林づくり」を目指して、植樹にとどまらず、全国の森林組合やNPOなどと3~6年の協定を結び、下草刈り、間伐まで行っています。グループ社員、セブン-イレブン加盟店のボランティアなども参加し、2006年以降のべ99回と活動が続いています。

女性や若者、高齢者の活躍支援

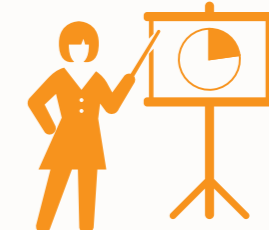
今後30年程度で、2,000万人以上もの生産年齢人口が減少することが予測される中、女性の活躍推進は必要不可欠になっています。セブン&アイグループでは、グループ全体で14万人近くの従業員が働いています。職場には、パートタイマー、アルバイト、育児のために短時間で働く従業員などもあり、多様な働き方を支援することが企業としての責務であり、競争力の源泉であると認識しています。

女性管理職比率(課長級)
(2017年2月末現在)

(セブン&アイHLDGS.、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、そごう・西武、ヨークベニマル、セブン&アイ・フードシステムズ、赤ちゃん本舗、セブン銀行の8社合計)

23.0 %

ダイバーシティ推進目標の一つである「2020年までに女性の管理職比率30%達成」に向けて、能力のある女性の登用と人材育成の強化に取り組んでいます。また、この間に女性や管理職の意識改革が進み、時短勤務中の管理職も多数誕生しています。



障がい者雇用率
(2017年6月末現在)

2.51 %

誰もが活躍できる職場づくりを理念に掲げ、障がいのある方も力を発揮できる環境づくりに取り組んでいます。重度の障がいがある方の雇用を促進するために設立した特例子会社では、17人を雇用。その結果、グループの障がい者雇用率は2.51%となりました。

※セブン&アイHLDGS.、テルベ、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、セブン&アイ・フードシステムズの5社によるグループ適用雇用率。

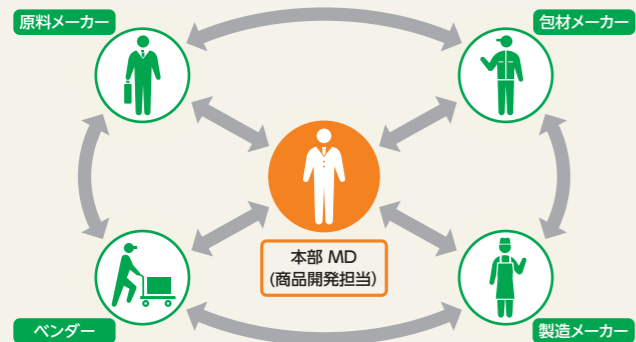
時代のニーズに応え続ける プライベートブランド

品質や安全・安心にこだわり、お客様から高い支持を得ているのが、セブン&アイグループ共通のプライベートブランド「セブンプレミアム」です。少子高齢化や働く女性の増加、健康志向や環境問題への意識の高まりといった時代の変化を捉え、新たな価値を提案。今年、発売10周年を迎え、「品質向上」「健康・安全・安心」「環境配慮」「グローバル展開」の4つの定義のもと、さらに進化を続けています。



チームMDが「セブンプレミアム」の 高い品質を実現

毎日のように売場から集まってくるたくさんのお客様の声を、専門家たちのモノづくりの現場に活かす取り組みが、チームMD(マーチャンダイジング)です。質にこだわった商品を開発するために原材料調達から生産、加工、物流といった分野の専門知識を持ったメーカーやベンダーなどと協働。業界の垣根を越えて互いの強みを活かし、妥協のない開発を実現しています。



10周年を迎え、 新しいロゴで新展開

**進化し続けるブランド
セブンプレミアム**
より幅広く、よりきめ細かに、時代のニーズに応えていきます。

最上級のブランド
セブンプレミアム ゴールド
食品



安全・安心の生鮮ブランド
セブンプレミアム フレッシュ
生鮮食品



暮らしを豊かにするブランド
セブンプレミアム ライフスタイル
住居関連・衣料品



上質な時間を提供するブランド
セブンカフェ
コーヒー・焼き菓子



数字で見る「セブンプレミアム」

「セブンプレミアム」の総アイテム数は3,650、そのうち192アイテムが1年間に10億円以上の売上げを記録する人気商品です。その強さの秘密は、商品ごとに有力メーカーと共同開発し、クオリティを追求する姿勢と、2万店以上のグループ店舗でいつでも手軽に買える便利さにあります。



(2017年2月末現在)

ニーズの変化に合わせた 価値あるお店のあり方を提案します。

変化の激しい社会環境の中で私たちのライフスタイルも大きく変わりました。
それともない、求められる商品やサービスも変わってきています。
私たちは、いまのニーズにお応えできる、お店のあり方を追求しています。



セブン・イレブン コンビニエンスストアの新しいあり方を追求

社会構造やライフスタイルが変化中、セブン・イレブンは、いま求められる「近くて便利」とは何かを追求した新たな店づくりを推進しています。この10年間で、50歳以上のお客様のご来店が増え、女性のお客様も約半数を占めるようになりました。また、おにぎりや麺類などの基本商品をはじめ、コーヒー、揚げ物などのカウンター商品が大きく伸びています。こうした変化を捉え、品揃えやレイアウトを抜本的に見直し、従来の枠組みにとらわれない店舗の革新に挑戦しています。



カウンターを延長し、セブンカフェや揚げ物など、カウンター商品の品揃えを強化



冷凍ケースを従来の2台から4台に増強し、日々の食卓を彩る冷凍食品などの品揃えを拡充

イトーヨーカドー 楽しい体験が得られる地域密着の滞在型施設

ショッピングモールは、単にお買物をするだけでなく、楽しい体験が得られる滞在型施設に進化しています。アリオでは、施設の空間づくりやさまざまなイベントで、「いつ来ても何かある」ワクワクしたお店づくりを推進。地域コミュニティとしても欠かせない場所になっています。また首都圏では食品館を展開するなど、商圈に合わせた店舗スタイルで、お客様のニーズに応えています。



天井や壁にグリッドアートが施され、楽しさあふれる空間を演出したアリオ橋本



食品館新宿富久店では、焼き立てピザなどが楽しめるイトインスペースを併設。憩いの場を提供しています



セブンパーク アリオ柏の、リアルな巨大オブジェが立ち並ぶ空間。子どもはもちろん、大人も童心にかえって楽しめます

そごう・西武 文化発信と提案でお客様のライフスタイルを豊かに

基幹店である西武池袋本店のラグジュアリー拡充やそごう横浜店のビューティーゾーンの強化、郊外型百貨店の新しいモデルとして西武所沢店の食品強化など、地域のニーズに合わせて店舗ごとに特色や個性を磨き、お客様のライフスタイルを豊かにする提案を行っています。また、美術館などのイベント開催やそごう・西武が培ってきた文化発信力を活かして、魅力ある百貨店づくりを進めています。



西武所沢店では日本人気に応え、全国の銘酒を気軽に飲み比べたり、知識を深めながら好みのお酒を見つけられる「酒蔵」をオープン



お客様一人ひとりに合わせたスキンケアなどをきめ細かに提案。美しくなるお手伝いをする「ソゴウ・セイブクレイ ステーション」

グループの歩みは、日本の流通サービスの 挑戦とイノベーションの歴史です。

私たちグループは、日本の流通に変革をもたらす取り組みに挑戦してきました。
日本流コンビニエンスストアの導入、共同配送の仕組み、公共料金の収納代行、世界最先端の情報システム、
決済専門のセブン銀行など、世界初、日本初、業界初の取り組みは100件以上になります。
そのDNAは、セブン & アイグループにも引き継がれています。

2005



セブン&アイHLDGS.設立

2005年9月、グループ各社のインフラやノウハウを共有して、シナジーを生み出すことを目的に持株会社を設立。

2005



7-Eleven, Inc.を完全子会社化

2005年の完全子会社化以降、日本で培った経験を活かして、単品管理の精度を上げる「オペレーション」をはじめ、「商品開発」「店舗開発」を導入。積極的なM&Aを含め、成長性の高い地域への出店を進めています。

2007



電子マネー「nanaco」誕生

2007年4月、約1,500店舗のセブン-イレブンからスタート。カードのデザインはお客様とお店をつなぐ虹の懸け橋です。

2007



「セブンプレミアム」の誕生

2007年5月に発売した「セブンプレミアム」の第1弾は49アイテム。ナショナルブランド商品と同等以上の味・品質を備え、「2008年日経優秀製品・サービス賞」の「最優秀賞 日本経済新聞賞」を受賞しました。

2012



セブンらくらくお届け便スタート

超小型電気自動車「コムス」を活用したサービスとして、セブン-イレブンのほぼすべての商品をご自宅や事業所などへお届け開始。

セブン銀行ATMの拡大

セブン銀行は、「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」使えるATMサービスを提供。現在では国内設置台数が23,000台を超え、1日約220万人のお客様にご利用いただいています。

2015



「オムニ7」グランドオープン

2015年11月、多彩な業態がリアルとネットを融合した、オムニチャネル「オムニ7」がグランドオープン。いつでも、どこでも、お買物を楽しめる、従来のネット通販の枠を超えた新しいお買物のカタチです。

2013



「セブンカフェ」がスタート

1杯ずつ挽きたて、淹れたての本格的なコーヒーを提供する「セブンカフェ」がスタート。コンビニエンスストアに、新たなスタイルと市場を生み出しました。

2005

- 2005年 9月 (株)セブン & アイ HLDGS. 設立
- 11月 (株)セブン-イレブン・ジャパン、7-Eleven, Inc. を完全子会社化
- 12月 (株)ミレニアムリテイリングと事業提携

- 2006年 6月 (株)ミレニアムリテイリング(現 そごう・西武)を完全子会社化
- 9月 (株)ヨークベニマルを完全子会社化

- 2007年 1月 (株)セブン & アイ・フードシステムズ設立
- 3月 世界最大チェーン店舗数が小売業として世界最大チェーン店舗数を達成
- 4月 流通系初の電子マネー「nanaco」誕生
- 5月 グループ共通のプライベートブランド「セブンプレミアム」誕生
- 7月 (株)赤ちゃん本舗を子会社化
- 12月 (株)日テレ7設立

2010

- 2008年 7月 (株)セブン & アイ・ネットメディア設立
- 8月 (株)アインファーマシーズと業務・資本提携 (株)セブンファーム富里設立

- 2009年 1月 (株)セブンカルチャーネットワーク設立
- 6月 (株)セブンヘルスクエア(現 セブン美のガーデン)設立
- 8月 (株)そごう・西武設立
- 12月 びあ(株)と業務・資本提携
- グループの総合通販サイト「セブンネットショッピング」スタート

- 2010年 2月 セブン-イレブンで「住民票の写し」「印鑑証明」発行の行政サービス開始
- 3月 タワーレコード(株)へ資本参加
- 7月 農業事業の統括会社(株)セブンファーム設立
- 9月 「セブンゴールド」を販売開始
- 12月 セブン-イレブン成都有限公司設立

- 2011年 3月 (株)セブン・フィナンシャルサービス設立
- 5月 セブン-イレブン「セブンあんしんお届け便」スタート

- 2012年 1月 セブン-イレブン全店売上が、国内小売業の単一チェーンとして初の3兆円突破
- 7月 セブン-イレブン、超小型電気自動車「コムス」を活用した「セブンらくらくお届け便」スタート
- 12月 無料Wi-Fiサービス「セブンスポット」グランドオープン

- 2013年 1月 「SEVEN CAFÉ(セブンカフェ)」の販売スタート
- 7月 (株)ダイイチと業務・資本提携
- 12月 (株)ニッセンホールディングスと業務・資本提携 (株)天満屋ストアならびに(株)天満屋と業務提携 (株)バルスと業務・資本提携

2015

- 2014年 2月 営業利益が国内小売業初の3,000億円突破
- 3月 電子マネー「nanaco」の月間利用件数が1億件突破
- セブン-イレブン、JR西日本グループと駅店舗事業で業務提携
- 5月 国内小売業初、大規模災害に備えた「燃料備蓄基地」を設置
- 7月 セブン銀行ATM設置台数が20,000台突破
- 12月 コンビニエンスストア業界初の免税サービス開始

- 2015年 2月 (株)パーニーズ ジャパンを完全子会社化
- 3月 関西地域の食品スーパー(株)万代と業務提携
- 11月 「オムニ7」グランドオープン
- 2016年 8月 (株)ニッセンホールディングスを完全子会社化

- 2017年 7月 アスクル(株)と業務提携

コンビニエンスストア事業 「近くて便利」な生活インフラ

高品質で豊かな品揃えとともに、お食事お届けサービス「セブンミール」やショッピングサイト「オムニ7」のお受け取りなどサービス機能も充実。つねに時代の一步先を行くコンビニエンスストアとして進化し続けています。



セブン-イレブン・ジャパン

つねにおいしく、安全・安心な商品を提供



「新しい価値」をお届けするオリジナル商品

セブン-イレブンのオリジナル商品は徹底した生産履歴管理のもと、新鮮で安全・安心な素材選びから、専用工場での製造、商品の配送まで、すべての工程にわたってこだわった、おいしく質の高い商品を提供しています。

「近くて便利」に応える生活サービス

多彩な機能のマルチコピー機や24時間使えるATM、電子マネー「nanaco」、公共料金などの「料金収納代行サービス」、さらに「オムニ7」の商品受け取りなど、暮らしを支えるサービスが充実しています。



生活インフラとしての機能も充実

売れるお店づくりをバックアップするシステム

セブン-イレブンは、独自の単品管理システムに加え、フランチャイズ・システムや出店方式、物流システムなど、長年の経験から培った確固たる体制を整えています。さらに、経験豊かなOFC(店舗経営相談員)によるサポートなど、万全の体制で加盟店様の店舗経営を支えます。



定期的に店を訪問し、経営アドバイスを行うOFC

TOPICS

子育て中の社員を支援する 「スポット保育」

流通業では祝日や年末年始の勤務日が小学校や保育園の休日に重なることが多く、子育て中の社員は勤務が困難なケースがあります。そこでセブン-イレブンは2016年秋から「スポット保育」の試験運用を開始。本社を含め3カ所に臨時的保育施設を設置し、社員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。



2017年より本格運用を開始

株式会社セブン-イレブン・ジャパン



代表取締役社長：古屋 一樹
チェーン全店売上：4兆5,156億円(2017年2月期)
設立：1973年
資本金：172億円(2017年2月末)
店舗数：19,422店舗(2017年2月末)
社員数：8,562名(2017年2月末)

コンビニエンスストア事業(海外) 新たな「コンビニエンス」を追求

お客様のニーズに対応した商品の提案と積極的な出店により、成長を続ける北米のセブン-イレブン。グローバル展開も拡大しています。



7-Eleven, Inc.

新しいお客様ニーズにお応えする
高品質な商品と充実の品揃え

いま、北米の消費市場に変化をもたらしている「簡単に素早く食事を済ませたい」「ショッピングは一度に済ませたい」といった新たなニーズに対応。フレッシュフードの拡充、品揃えの拡大、プライベートブランド商品「7-Select」の品質向上などを柱に、新しいコンビニエンス(便利さと快適さ)を追求しています。また、地域マーチャンダイザーによる商品開発など、地域のお客様に支持される商品を数多く生み出しています。



リーズナブルな価格と高品質を実現する「7-Select」

積極的な出店とM&Aにより、成長基盤を強化

新規出店の推進とM&Aを効果的に組み合わせ、成長性の高い地域での積極的な出店によるセブン-イレブンチェーンの強化を推進しています。また、店舗設備やサービス機能の刷新により既存店舗も活性化し、「質をともなった成長力」の基盤となる店舗網の拡充を加速させています。



質の高い出店を推進

世界でブランド価値向上を推進

17の国と地域に広がるセブン-イレブン。7-Eleven, Inc.は、そのエリアライセンスとして、グローバルビジネスにも力を注いでいます。既存のエリアライセンスのレベルアップを支援しながら、新しい地域への出店にも注力。世界規模で「セブン-イレブン」のブランド力向上を図っています。



2017年6月15日に、ベトナムに出店

TOPICS

風力発電エネルギー購入契約を TXU Energy社と締結

7-Eleven, Inc.は、「店舗と本部におけるCO₂排出量を2025年までに20%削減(2015年比)する」という目標を設定しています。その取り組みの一環として、テキサス州の風力発電設備から2018年6月より8年間、電力を購入する契約をTXU Energy社と締結しました。テキサス州の425店舗が対象となり、7-Eleven, Inc.のCO₂排出量において約6.7%の削減を見込んでいます。



7-Eleven, Inc.



取締役社長CEO：Joseph M. DePinto
(ジョセフ・マイケル・デピント)
チェーン全店売上：2兆7,351億円(2016年12月期)
設立：1927年
資本金：13千ドル(2016年12月末)
店舗数：8,707店舗(2016年12月末)
社員数：15,021名(2017年2月末)

総合スーパー事業

お客様の暮らしとコミュニティに、豊かさをお届けする

商品、サービス、お店づくりなどを通じ、地域のお客様の暮らしに寄り添い、コミュニティの拠点となる「総合スーパー」を目指しています。



イトーヨーカドー

豊かなクオリティを提供する「いいもの。いつもの。」



GALLORIA(ギャロリア)

日々の暮らしと幅広いライフスタイルに応える商品やサービスをお届けします。コーディネートで選べるブランド「GALLORIA」、生産履歴のわかる安全・安心な食品、毎日のメニューを提案する「クッキングサポート」など、コミュニケーションあふれる売場で暮らしを楽しくするお手伝いをしています。



生産履歴のわかる生鮮食品



「クッキングサポート」でのメニュー提案

ネットスーパー

365日好きな時間にご注文いただけるネットスーパー。売場のプロが責任を持って商品をお選びします。当日注文、当日お届けをはじめ、お客様の細かい注文や魚の調理加工などに応え、新しい便利をお届けします。



売場のプロが商品を厳選

TOPICS

子育て支援制度 「プラチナくるみん」に認定

1991年から育児に携わる社員への支援制度を導入したイトーヨーカドー。1日単位で気軽に利用できる育児休暇取得率が男性社員でも69%を達成し、2016年には、特に高い水準で子育てをサポートする企業として、厚生労働大臣から「プラチナくるみん」に認定。東京都内の企業として初めて認定された企業の一つとなりました。



男性社員も積極的に子育てに参加

株式会社イトーヨーカ堂



代表取締役社長：三枝 富博
営業収益：1兆2,550億円(2017年2月期)
創業：1920年
資本金：400億円(2017年2月末)
店舗数：171店舗(2017年2月末)
従業員数：35,194名(2017年2月末)

食品スーパー事業

地域のニーズにきめ細かに対応

「お客様の毎日の食卓をより楽しく、豊かに、便利にする」というコンセプトのもと、マーケットの変化やお客様ニーズにお応えする生活提案型スーパーマーケット。



ヨークベニマル

地域に愛されるスーパーマーケット



明るいあいざつとよいねいな接客も人気

東北地方で圧倒的なシェアを誇る食品スーパー。小商圏から繰り返しご来店いただくお客様に「感動」をお届けできるサービスと、地域生活に密着した売場づくりを目指しています。また、食品添加物を使わない「お母さんの味」を追求した惣菜を展開。味や品質、安全・安心などにこだわった商品を提案しています。

株式会社ヨークベニマル



代表取締役会長：大高 善興
代表取締役社長：真船 幸夫
営業収益：4,261億円(2017年2月期)
設立：1947年
資本金：99億2千7百万円(2017年2月末)
店舗数：213店舗(2017年2月末)
従業員数：14,038名(2017年2月末)

TOPICS

地域の要請に応え 「新富岡店」が再オープン

東日本大震災の影響で閉店を余儀なくされた福島県富岡店は、政府や富岡町からの要請もあり、新富岡店として2017年3月30日、再オープンしました。周辺地域では4月1日に避難指示が解除され、住民の方々の本格的な帰還がスタート。鮮度の良い商品、即食・簡便商品などを提供しています。



再オープンでにぎわう店内



ヨークマート

地域の生活に寄り添った売場づくり

首都圏を中心に78店舗(2017年2月末現在)を展開しています。



株式会社ヨークマート

代表取締役社長：大竹 正人
営業収益：1,428億円(2017年2月期)
資本金：10億円(2017年2月末)



ザ・ガーデン自由が丘

高質食品スーパーを首都圏で展開

首都圏を中心に27店舗(2017年2月末現在)を展開しています。



株式会社シェルガーデン

代表取締役社長：稲富 仁
営業収益：281億円(2017年2月期)
資本金：1億円(2017年2月末)

百貨店事業

デパートの「新しい価値とカタチ」を創造、発信

独自の商品や百貨店ならではのサービスを通じて、
ほかにはない新しさとワクワク感に満ちたお買物体験をお届けします。



幅広いお客様に新しい価値を届ける「リミテッド エディション」



リミテッド エディション@オフィス

世界の著名デザイナーとのコラボレーションなど、選び抜かれたクオリティの高いアイテムをお届けしているプライベートブランド「リミテッド エディション」。従来の百貨店プライベートブランドの枠を破り、新しい価値の創造を通じて、多くのお客様から高い評価をいただいています。「リミテッド エディション」では、多彩なシリーズ展開を通じて、お客様の多様なライフステージやライフスタイルに対応しています。

ソリューションを提案する百貨店ならではの接客

ブランドを超えて最適な商品の組み合わせを提案する「コーディネートステーション」をはじめ、「ソゴウ・セイブキレイ ステーション」や「メイクアップステーション」などのソリューションサービスを展開。百貨店ならではの高度な専門知識で、お客様一人ひとりと多彩なハイクオリティ商品を結び、ほかでは得られない満足を生み出しています。



コーディネートステーション

百貨店のリソースを活かした事業展開

マーチャンダイジング力や企画力を活かして、法人・団体のお客様に販売プロモーションのご提案やユニホーム、防災関連用品、資材、ギフトなどのご提供を行っています。また、そごう、西武の海外ライセンスとして、香港や台湾、マレーシア、インドネシアにおいて、30店舗を展開。いずれも高級百貨店として人気を集めています。

TOPICS

西武池袋本店屋上

「食と緑の空中庭園」

緑あふれる憩いの空間と、季節に応じた世界の料理を楽しむことができる「食と緑の空中庭園」。四季を感じる庭園「睡蓮の庭」や全長約165mの壁面緑化「グリーンウォール」、芝生の広場「グラスフィールド」など、多様な自然とふれあうことができます。これらの緑地は、年間約20トンのCO₂削減にもつながります。



SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)により、「都市のオアシス」に認定

株式会社そごう・西武



代表取締役社長：林 拓二
営業収益：7,606億円(2017年2月期)
創業：1830年
資本金：100億円(2017年2月末)
店舗数：19店舗(2017年2月末)
従業員数：8,586名(2017年2月末)

専門店事業

それぞれの分野で信頼されるブランド力を発揮

高いブランド力で支持を得ているセブン&アイグループの専門店。
地域のニーズに応じた組み合わせでショッピングセンターの魅力づくりにも貢献しています。



「子育て総合支援企業」を目指して



会員数は200万人以上。子育て世代において、90%以上のお母さんに認知度があり、赤ちゃんの安全・安心を考えたオリジナル商品の開発はもちろん、出産や子育てに関するイベントやサービスの提供にも力を入れています。さまざまなコト(サービス・情報)の提供、モノとコトを掛け合わせた提案など、機能的・情緒的の両面からお客様ニーズにお応えします。お客様からの高い信頼を背景に、お客様一人ひとりの幸せな出産・子育てをサポートする「子育て総合支援企業」を目指しています。

お客様に寄り添う「スマイルな育児」を提供

「スマイルな育児を。アカチャンホンポ」を掲げ、楽しさ、驚き、感動を提供します。子育てを支援する活動として、助産師の講義や沐浴実習などにご夫婦で参加していただく「マタニティスクール」や、パパになる方向けの「プレパパナイトツアー」、勉強会とお楽しみ会をあわせて行う「スマイル子育てカレッジ」など、お客様の気持ちに寄り添ったイベントを行っています。



アカチャンホンポ スマイル リバーウォーク北九州店「すまいるひろば」。365日イベントを実施



プレパパナイトツアー

TOPICS

キッズデザイン賞を受賞

赤ちゃん本舗では、独自の市場調査に基づいてお客様の気持ちに寄り添ったオリジナル商品を多数開発しています。2009～2016年までに16の商品がキッズデザイン賞*を受賞。商品づくりを通じて、かけがえない子育てをサポートします。

*キッズデザイン賞とは、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン、そして子どもたちを産み育てやすいデザインを顕彰する制度です。



お客様の声を受けて開発した「水99% Superシリーズ」はおしりふきなど7種類をラインアップ

株式会社赤ちゃん本舗



代表取締役社長：佐藤 好深
営業収益：1,027億円(2017年2月期)
設立：1932年
資本金：37億8千万円(2017年2月末)
店舗数：106店舗(2017年2月末)
従業員数：2,885名(2017年2月末)

専門店事業

生活雑貨専門店 ロフト

日常にプラスワンの豊かさと楽しさを提供

美容・健康雑貨、文具、バラエティ、キャラクターから生活雑貨、アート雑貨まで、デザイン性と機能性を備えた商品を幅広く取り揃えています。お客様の声を活かしたオリジナル商品の開発や、新しいモノやコトを生み出す売場づくりも推進。2017年6月23日には銀座並木通りに銀座ロフトがオープンし、新しいスタイルや楽しみ方を提案しています。



銀座ロフト

お買物を楽しくする「ロフトアプリ」

「ロフトアプリ」はスマートフォンを活用したお客様とのコミュニケーションツールとして注目されています。雑貨の「いま」がわかる最新情報を発信するほか、お気に入りの雑貨をシェアして楽しめるようインスタグラムへもリンクしています。さらにお買物をしたスタンプを貯めるとクーポンが使えるなど、おトクなサービスが充実しています。

レストラン・ファストフード・給食 セブン&アイ・フードシステムズ

すべての人に、安心とこだわりのおいしさを

「デニーズ」をはじめ、天井専門店「まん天丼」やカフェ「白ヤギ珈琲店」など、多彩な専門店を展開。おいしさとともにコミュニケーションを大切にしておもてなしの場をつくっています。また新鮮で安全な食材や旬に合わせたメニューの開発、清潔な店舗などにもこだわりながら、すべてのお客様に満足いただけるフードサービスの実現に向けて挑戦を続けています。



専門店のおいしさを、もっと身近に

セブン&アイ・フードシステムズでは、フードコート向けのファストフード「ポッポ」や、社員食堂や給食なども手掛け、毎日の暮らしの中に、専門店で培った質の高い料理をお届けしています。

株式会社ロフト



代表取締役社長：安藤 公基
営業収益：1,002億円(2017年2月期)
設立：1996年
資本金：7億5千万円(2017年2月末)
店舗数：109店舗(2017年2月末)
従業員数：4,356名(2017年2月末)

株式会社セブン&アイ・フードシステムズ

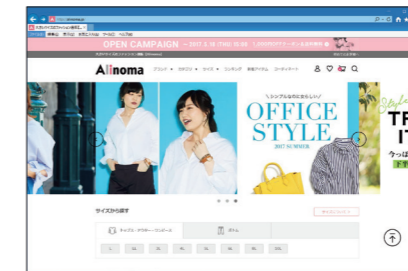


代表取締役社長：小松 雅美
営業収益：825億円(2017年2月期)
設立：2007年
資本金：30億円(2017年2月末)
店舗数：815店舗(2017年2月末)
従業員数：10,333名(2017年2月末)

ネットショッピング ニッセンホールディングス

あなたのもとへ“ちょっといいな”をお届けします

婦人服を中心とした衣料品、インテリア雑貨などのインターネット販売を行うニッセン・オンライン。40年以上のカタログ通販のノウハウを活かしながら、お客様のライフステージ・ライフシーンに寄り添うきめ細かなサービスを展開しています。



プラスサイズ女性専門ECモール「Alinoma」

BARNEYS NEW YORK 婦人服・紳士服・洋品雑貨専門店 バーニーズ ジャパン

高いブランド力と情報発信力を備えた スペシャリティストア

インポートを中心とした婦人服・紳士服・洋品雑貨のスペシャリティストアとして、上質で洗練されたスタイルを提案しています。店舗やディスプレイ、接客サービスが一体となって、「バーニーズ ニューヨーク」ならではのファッションとラグジュアリーを発信します。



バーニーズ ニューヨーク六本木店

OSHMAN'S スポーツショップ オッシュマンズ

より多くの人にスポーツのある暮らしを

“SPORTS & LIFE-STYLE FRONTIER”がテーマ。スポーツを通して人生を楽しむためのライフスタイルを提案。セレクトショップとして、ワールドワイドなスポーツギアやファッション、人気ブランドとのコラボレーション商品の取り扱いをはじめ、ビギナーも気軽に楽しめる各種イベントを開催しています。



オッシュマンズ名古屋店(2017年4月17日開店)

株式会社ニッセンホールディングス

代表取締役社長：脇田 珠樹
設立：1970年
資本金：118億7千3百万円
(2017年2月末)

株式会社バーニーズ ジャパン

代表取締役社長：高橋 幸智
設立：1989年
資本金：49億9千万円(2017年2月末)
店舗数：12店舗(2017年2月末)

株式会社オッシュマンズ・ジャパン

代表取締役社長：松本 敦司
設立：1984年
資本金：25億円(2017年2月末)
店舗数：8店舗(2017年2月末)

専門店事業

インテリア・雑貨専門店 Francfranc フランフラン

日常を豊かでポジティブに彩る空間づくりを叶えるインテリアショップ「Francfranc」を展開。「何気ない日常に驚きや感動を。」をコンセプトに、ファッション性の高いインテリア雑貨や家具を揃えて、心地よいライフスタイルを提案します。



TOWER RECORDS ミュージックショップ タワーレコード

「音楽好きによる音楽好きのための店づくり」で確固たるブランド力を築いてきたミュージックショップ。音楽・映像ソフトの販売に加え、レーベル事業やライブ事業、カフェなどを展開。カルチャーの発信基地となっています。



セブン&アイ Net Media WEB・ITシステム セブン&アイ・ネットメディア

「オムニ7」をはじめ、セブン&アイグループのWEB戦略を支援するシステムの開発・運用を手掛けています。ネットの浸透による情報社会に対応すべく、ITを活用した小売業の未来創造を支援していきます。



SEVEN&I PUBLISHING 雑誌・書籍 セブン&アイ出版

生活情報誌「saita」を中心に生活関連のムック本や専門誌、各種書籍など、年間30種類以上の編集・出版を行っています。グループ各社と連携して、生活者視点の情報を提供しています。



株式会社 Francfranc

代表取締役：高島 郁夫
社長執行役員
設立：1990年
資本金：1億円
店舗数：126店舗(2017年2月末)

※2017年9月1日、株式会社パルスより社名変更

タワーレコード株式会社

代表取締役社長：額脳 育夫
設立：1981年
資本金：1億円
店舗数：79店舗(2017年2月末)

株式会社セブン&アイ・ネットメディア

代表取締役社長：田口 広人
設立：2008年
資本金：76億6千5百万円
(2017年2月末)

株式会社セブン&アイ出版

代表取締役社長：金竹 正江
設立：1995年
資本金：2億4千2百万円
(2017年2月末)

文化教室事業・旅行事業 セブンカルチャーネットワーク

学び(カルチャー)と体験(トラベル)をキーワードに、心の豊かさを実感していただける新たなサービスを提供しています。また、グループ各社の経営資源を活用して、「いまお客様が求めるサービス」「いままでにないサービス」の創造に挑戦しています。



デベロッパー事業 セブン&アイ・クリエイトリンク

グループの総合デベロッパー会社として、グランツリー武蔵小杉、セブンパークアリオ柏など、質の高い商業施設の開発と運営管理を担当。グループ力を活用し、地域に調和し愛される商業施設を通して、豊かな街づくりに挑戦しています。



特例子会社 テルベ

緑豊かな北海道北見市富里にある、障がい者ならびに高齢者の雇用拡大のために創設された特例子会社。印刷事業とシタケ生産を中心に、誰もがのびのびと働ける会社を目指しています。また、ノーマライゼーションの理念を社内外に発信しています。



各地域での提携事業

北海道で展開するスーパーマーケット ダイイチ



中国地方で強固な基盤を持つ百貨店 天満屋



株式会社セブンカルチャーネットワーク

代表取締役社長：林 拓二
設立：2009年
資本金：16億5千万円
(2017年2月末)

株式会社セブン&アイ・クリエイトリンク

代表取締役社長：近藤 悦啓
設立：2005年
資本金：6億2千2百万円
(2017年2月末)

株式会社テルベ

代表取締役社長：藤本 圭子
設立：1994年
資本金：4億円(2017年2月末)

岡山・広島・鳥取各県で展開する スーパーマーケット 天満屋ストア



金融サービス事業 暮らしに密着した便利を提供



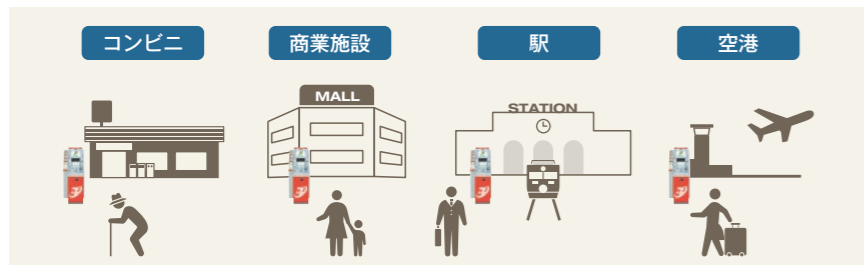
全国のATMネットワークをベースとする便利さの追求



全国に23,000台以上あるセブン銀行のATMでは、600社以上の提携金融機関などのカードで入出金ができます。また、海外で発行されたキャッシュカードやクレジットカードでも日本円を引き出すことができます。その他、ATMをはじめパソコン・スマートフォンなどからもご利用いただける便利な口座サービスなどを提供しています。

さまざまな場所にATMを設置

グループ店舗のほか、商業施設、駅、空港などにATMを設置。1日に約220万人以上のお客様にご利用いただいています。



スマホによるATM取引が可能に

対応するスマートフォンアプリを使って、ATMに表示されるQRコードを読み込むことで入出金取引ができる「スマートフォンATM取引サービス」の提供を開始。これにより、提携金融機関などのカードを持ち歩く必要がなく、よりスマートにATMをご利用いただけるようになりました。

注：一部提携会社に限ります。



対応のアプリを用いることですべてのセブン銀行ATMで入出金が可能

TOPICS

視覚障がいのある方も安心の 音声ガイダンスサービス

すべてのお客様に安心してご利用いただけるよう、ATM機能やサービスを日々進化させています。おもに視覚障がいのあるお客様にご利用いただいている音声ガイダンスサービスでは、ATMに備え付けのインターホンから流れる音声案内にそってインターホンのボタン操作をすることでお取引いただけます。提携する約540社の金融機関のカードでご利用可能です。



インターホンのプッシュボタンで操作

株式会社セブン銀行



代表取締役会長：安齋 隆
代表取締役社長：二子石 謙輔
経常収益：1,131億円(2017年3月期)
設立：2001年
資本金：305億7千2百万円
(2017年3月末)
ATM設置台数：23,368台(2017年3月末)
社員数：472名(2017年3月末)

グループ各店舗や駅、空港などさまざまな場所にATMを設置する「セブン銀行」や、電子マネーやクレジットカード、保険・リースを取り扱う「セブン・フィナンシャルサービス」を通して、暮らしに溶け込んだ金融サービスを提供しています。

Financial Service セブン・フィナンシャルサービス

日々の暮らしに密着した便利な金融サービス

クレジットカード、電子マネー、保険・リースの取り扱い、新たな金融商品の開発・提供など、お客様に日々「新しい価値」をお届けし続けるために「ふだんの暮らし」に密着したサービス提供を追求しています。

「便利」で「価値」あるクレジットカード事業を展開

クレジットカードの発行・運営や電子マネーやポイントサービスの連動を行うセブン・カードサービスと、そごう・西武との提携カードの発行・運営を手掛けるセブンCSカードサービスを傘下に持つセブン・フィナンシャルサービス。クレジットカードを軸に、グループのお客様に、流通サービスと一体となった金融サービスを提供しています。



nanaco



クラブ・オンカード
セゾン



セブンカード・
プラス



ミレニアムカード
セゾン

お客様に新たな利便性を提供した「nanaco」

セブン&アイグループの電子マネーとして始まった「nanaco」。グループの各店舗はもちろん、グループ外の提携店舗や自動販売機など、さまざまな場所で使える電子マネーとして暮らしに密着したサービスを展開しています。



TOPICS

「nanacoポイント 募金」開始

「nanaco」で貯めたポイントでパソコンやスマートフォン、タブレット端末から手軽に「nanacoポイント募金」ができるようになりました。寄付先は、通常時は「セブン・イレブン記念財団」へ、災害発生時は被災地への義援金に切り替わり、被災地にお届けします。



「nanaco」会員メニューから手続き

株式会社セブン・フィナンシャルサービス



代表取締役社長：水落 辰也
設立：1975年
資本金：7千5百万円(2017年2月末)
クレジットカード発行数：670万枚(2017年2月末)
電子マネー発行件数：5,350万件(2017年2月末)
社員数：253名
セブン・カードサービス：214名
セブンCSカードサービス：459名
(2017年2月末)

会社概要

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

設立……………2005年9月1日	連結従業員数……………140,938名 ^{*1} (2017年2月末現在)
資本金……………500億円	本部所在地……………東京都千代田区二番町8番地8
事業内容……………コンビニエンスストア、総合スーパー、食品スーパー、百貨店、専門店、フードサービス、金融サービス、IT/サービスなど、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営(純粋持株会社)	2017年2月期連結決算業績 …… グループ売上 10兆6,215億円 ^{*2} 営業収益 5兆8,356億円 営業利益 3,645億円 経常利益 3,644億円 当期純利益 967億円

※1 月間163時間換算の臨時従業員含む (為替換算レート：U.S.\$1=108.78円)
 ※2「グループ売上」は、セブン-イレブン・ジャパンおよび7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

役員一覧 (2017年5月25日現在)

取締役・監査役

代表取締役社長 井阪 隆一	取締役 古屋 一樹	常勤監査役 江口 雅夫
代表取締役副社長 後藤 克弘	取締役 安齋 隆	常勤監査役 幅野 則幸
取締役常務執行役員 伊藤 順朗	取締役 大高 善興	監査役 鈴木 洋子*
取締役執行役員 粟飯原 勝胤	取締役 ジョセフ・マイケル・デピント	監査役 藤沼 亜起*
取締役執行役員 山口 公義	取締役 スコット・トレバー・デイヴィス*	監査役 ルディー 和子*
	取締役 月尾 嘉男*	
	取締役 伊藤 邦雄*	
	取締役 米村 敏朗*	

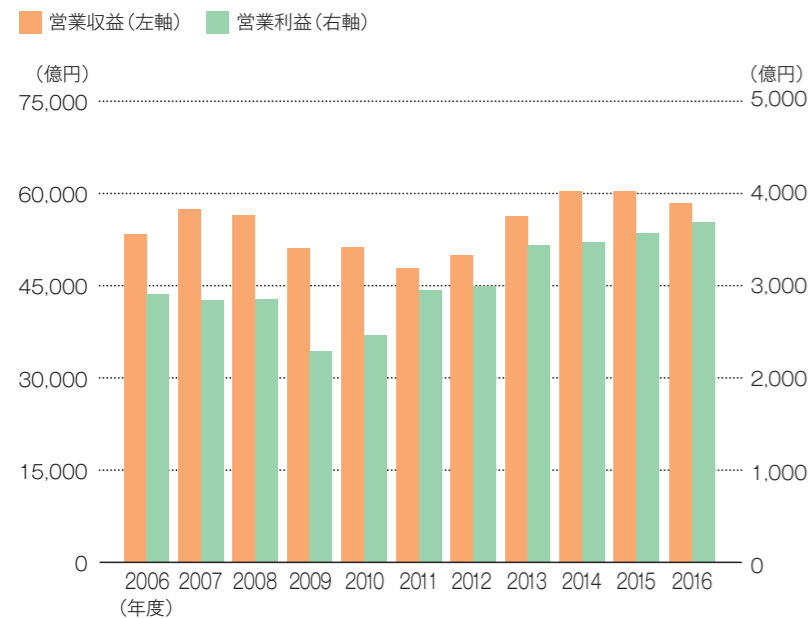
※印は、社外取締役または社外監査役

執行役員

常務執行役員 三枝 富博	執行役員 松本 忍	執行役員 金子 裕司
常務執行役員 林 拓二	執行役員 野口 久隆	執行役員 松本 稔
執行役員 土佐谷 政孝	執行役員 永松 文彦	執行役員 丸山 好道
執行役員 早田 和代	執行役員 清水 健	執行役員 中村 英和
執行役員 佐藤 誠一郎	執行役員 木村 成樹	

経営サマリー

連結業績の推移



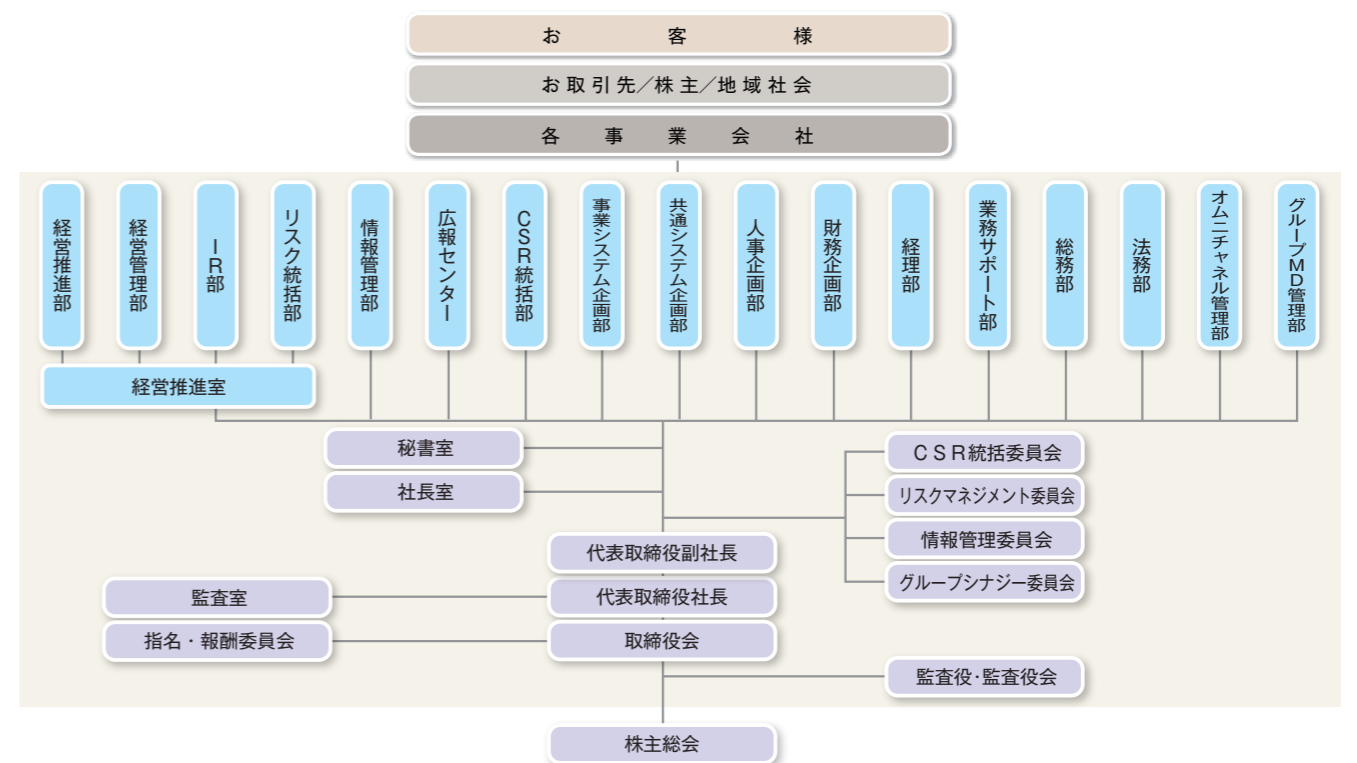
コーポレート コミュニケーションツール

セブン&アイHLDGS.
 ・統合レポート
 ・コーポレートアウトライン
 ・CSRレポート
 URL：http://www.7andi.com

セブン-イレブン
 ・セブン-イレブンの横顔
 URL：http://www.sej.co.jp

セブン銀行
 ・ディスクロージャー誌
 URL：http://www.sevenbank.co.jp

組織図 (2017年5月25日現在)



事業別店舗数一覧 (2017年6月末現在)

国内コンビニエンスストア事業	
(株)セブン-イレブン・ジャパン	19,588店
(株)セブン・ミールサービス	
(株)セブンネットショッピング	
(株)セブンドリーム・ドットコム	
SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC	64店
セブン-イレブン(中国)投資有限公司	
セブン-イレブン北京有限公司	220店
セブン-イレブン成都有限公司	65店
セブン-イレブン(天津)商業有限公司	83店
海外コンビニエンスストア事業	
7-Eleven, Inc.	8,716店
スーパーストア事業	
(株)イトーヨーカ堂 (丸大3店舗含む)	170店
(株)ヨークベニマル	214店
(株)ヨークマート	79店
(株)シェルガーデン	28店
(株)サンエー	1店
(株)ライフフーズ	
アイワイフーズ (株)	
(株)ヨーク警備	
(株)セブンファーム	
イトーヨーカ堂(中国)投資有限公司	
成都イトーヨーカ堂有限公司	7店
華糖ヨーカ堂有限公司	1店
(株)ダイイチ	22店
(株)天満屋ストア	47店
百貨店事業	
(株)そごう・西武	
●そごう	8店
●西武	11店
(株)池袋ショッピングパーク	
(株)ごっつお便	

金融関連事業	
(株)セブン銀行	23,553台*
(株)セブン・フィナンシャルサービス	
(株)セブン・カードサービス	
(株)セブンCSカードサービス	
(株)バンク・ビジネスファクトリー	
FCTI, Inc.	

※ATM設置台数

専門店事業	
(株)赤ちゃん本舗	107店
(株)ロフト	111店
(株)セブン&アイ・フードシステムズ	
●レストラン(デニーズ)	383店
●給食	263店
●インストア・専門店	135店
(株)ニッセンホールディングス	
(株)バーニーズ ジャパン	12店
(株)オッシュマンズ・ジャパン	9店
(株)Francfranc(フランフラン)*	130店
タワレコード(株)	79店

※2017年9月1日、(株)ハルスより社名変更

その他の事業	
(株)セブン&アイ・ネットメディア	
(株)セブン&アイ出版	
(株)セブカルチャーネットワーク	
(株)セブン&アイ・クリエイティング	
(株)セブン&アイ・アセットマネジメント	
(株)IYリアルエステート	
(株)ハヶ岳高原ロッジ	
(株)テルベ	
びあ(株)	